

MOT教育に望むこと

- 第3回MOTシンポジウム -
2007年9月27日

三菱電機エンジニアリング(株)
尾形仁士

我国の競争力の源泉

- ・技術立国
- ・貿易立国

商品別輸出概況(2006年)

総額 6,470億ドル(74.4兆円)

115円 / \$

一般機械	19.7%
電気機器	21.4%
輸送用機器	24.2%
精密機器	3.4%
化学製品	9.0%
金属及び同製品	7.7%
その他	14.6%

出典 JETRO貿易統計

成長を誰が支えるか？

GDP

- ・1994年以来, 500 ± 10兆円
- ・今後毎年3%の成長なら, 2020年には700兆円となる
- ・200兆円を生み出すシナリオが必要である
- ・現状と同じ輸出比率なら200兆円のうち30兆円は輸出競争力を持つ必要がある

200兆円のシナリオ

- a. 量子的飛躍, 劇的な変化による新産業,
新製品の創造
- b. 改良の積み重ねによる強みの更なる強化

「現在強いものをより強くする方が投資効果大」

MOT教育の柱

・新産業創出, イノベーションを否定はしない
が! あくまで従のシナリオ

MOT教育の対象

- ・「技術系」に「マネージメント教育」
- ・「事務系」に「技術教育」

「技術系」/「事務系」の区別を撤廃して、両者のベクトルの向きをあわせることがシナリオ実現に最重要